

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら 浜松丸塚教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20世帯	(回答者数) 20世帯
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職員を含め職員がそれぞれの強みを活かしながらチームとなってお子さまの支援ににあたらせていただいています。	・必要に応じて、放デイの職員も支援にあたらせていただくことで、多角的な視野からの支援にもつなげています。	・専門職員による専門的な支援を充実させることで、よりニーズに沿った支援が行っていただけるように取り組んでいます。
2	・同じ施設の中で放課後等デイサービス事業も行っています。日頃だけでなく、イベント時には交流なども行い、児発から放デイへのつながりも身近に感じていただけます。	・児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行に関して、他の事業所を経ることなく、そのまま同じ事業所でのご利用が可能です。就学先によっては、送迎の都合上、こぼんはうすさくらの他教室への移動をお願いしてございますが、大きく変わることはない支援でご利用が可能です。	・職員の教室移動や他教室との合同研修なども行っていますので、お子さまの様子や支援についての情報共有を更に強めて支援にあたっていきます。
3	・幼稚園や保育園、子ども園とは、園への送迎や園訪問を行うことでより強い連携が可能になっています。	・園への送迎がある所では、園での様子やこぼんでの支援を先生方と随時お話をしていますので、迅速な対応ができます。また、定期的な園訪問に加えて、おうちの方や園からのご希望による臨時の園訪問も行っています。場合によっては、園の先生によるこぼん見学も受け入れさせていただき、子ども達への支援にあたっています。	・今後も園との連携を密にして、異なる環境下でも子ども達の成長ができるような支援を行っていきます。また、おうちの方からのご要望にも迅速に対応できるように努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や保護者同士の交流機会がありません。	・おうちの方が同時に集えるような機会を設定していませんが、親子参加のイベント時には、交流を持てる機会もあります。	・おうちの方によっては、交流への抵抗感をお持ちの方もいらっしゃると思います。個人的にご希望される方には、間に入ってお互いの真意等を確認の上、お話を進めさせていただきます。
2	・地域の方々や他事業所との交流の機会がありません。	・地域の方々や他事業所との両方向からの関わりがないのが現状です。	・唯一、NDS様とは、防災訓練などでお世話になっていますので、イベント時の作品をお持ちしたり挨拶に伺ったりしています。知己の方々や他事業所との交流も検討を考えていきます。
3	・関係機関とのやり取りがが少ないこと、情報のやり取りが施設長や児童発達支援管理責任者で限定的なことが挙げられます。	・関係機関とのやり取りは、発達支援検査結果を教えてくださいなど、おうちの方を介してが主です。個人情報の観点からも、踏み込んだ関わりはできません。情報のやり取りに関しては限定的ではあるものの、情報共有は行っています。	・おうちの方や相談支援事業所の相談員さんとの連携を深めて、分からないことはお聞きしていきます。情報のやり取りは、他の職員とも共有し、全職員でのよりよい支援ができるように繋げていきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら 浜松丸塚教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様の送迎のみならず、学校送迎からご自宅までの送迎を行っておりますので、日々の支援にあたらせていただいている職員が送迎を行うことにより、信頼関係も含めて、お子様の過ごしやすい環境を整えております。	・送迎を行うことにより自家用車をお持ちでない方や事業所まで来ることが難しい方にも利用しやすい環境を整えております。また、それに伴い、保護者様のれず敗と時間確保もできるように努めております。	・送迎時を利用して、事業所でのお子様の様子をお伝えするとともに、保護者様とお話しできる機会を増やし、より身近な相談窓口として信頼関係を築くことができるよう努めてまいります。
2	・集団活動の時間と余暇時間のバランスを考慮して、放課後に過ごしやす環境を整え、小集団での集団活動を通して集団に慣れやすいよう配慮しております。	・集団が苦手な子どもでも、職員と一緒に参加するなどして、集団活動を行うことにより、集団への苦手意識を減らしていけるように配慮しております。また、無理に参加してもらおうではなく、意思を尊重しながら活動を行っております。	・集団活動の時間を有効に使いながら、今後もコミュニケーション形成が行いやすい環境を整えてまいります。
3	・学校訪問を行わせていただくことにより、利用児童の学校での悩みごとなどに対する支援を一貫して行えるような環境、体制を整えております。	・学校に定期的に訪問させていただき、様子を見させていただき、担任の先生等とお話をさせていただく場を設けていただくことにより、利用児童の現状を把握させていただくとともに、必要な支援について再検討させていただいております。	・保護者様の困りごとや悩みごとなど必要に応じて、迅速に学校訪問をおこなえるような協力体制を学校様等とつとめていけるよう環境を整えてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会のようなものを設定できておらず、保護者様同士の交流機会がありません。	・イベント時に保護者様にご参加いただき、顔を合わせる機会は設けていただいておりますが、交流できる機会、話合えるような機会までは設定できておりません。	・保護者様によっては交流に抵抗がある方もおられるため、慎重に検討してまいります。また、保護者様同席のイベント時を利用して交流機会を持つことができるような場も模索してまいります。
2	・地域の方々や他事業所等との交流機会を持つことが現状できておりません。	・他事業所との関わりの機会を持つことができず、交流する機会を提供できていない現状です。また、地域に関してもイベント等での交流の場を設けられていないため、周知不足な点もあります。	・地域の方々との交流機会の創出に向けて交流方法と開かれた事業所としてのイベント開催方法も検討してまいります。他事業所とも連携方法を確認し合えるよう連携を図ってまいります。
3	・第三者機関からの外部評価が足りていない部分があります。	・第三者からの評価機関との連携方法が上手くとりきれず、支援の質や活動内容の質の向上へ活かしきれない現状となっております。	・第三者からの外部評価機関と連携方法を検討し、外部評価を支援の質へと繋げられる体制を整えられるように図ってまいります。